

## 報告事項

### 1. 令和2年度事業報告・公益目的支出計画実施報告の件

#### 1. 事業内容

##### (1) 広報事業

###### 1. 機関誌発行事業

月刊「畑地農業」NO. 737号（4月）～748号（3月）を発行した。

発行部数：400部      購読部数：169部

###### 2. ホームページ提供事業

畑地農業振興会ホームページを逐次更新し、当会の業務内容の発信に努めた。

<https://www.hatastin.or.jp>

##### (2) 調査研究事業

###### 1. 自主研究事業

次の課題としたが、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。

課題：「電磁気処理のかんがい水への適用に関する研究」

研究担当者及び代表者：原口智和 准教授（佐賀大学農学部生物環境科学科）

###### 2. 海外学術調査交流事業

海外の国や組織と畑地農業基盤整備に関する技術交流をすることにより、双方の技術レベルの向上を図ることとしている。本年度は、以下の活動を行った。

1) 国際かんがい排水会議国内委員会に協力し会費を支出した。

2) 日華農業水利技術検討会、台湾農田水利会の訪日等は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施されなかった。

###### 3. 畑地かんがい研究集会事業

隔年開催であり、令和2年度は開催していない。

##### (3) 資格認定事業

###### 1. 畑地かんがい技士養成講習・資格認定事業

畑地農業振興のため、畑地かんがい技術をはじめ、土壌、作物、営農理論など幅広い関連知識を講習し、高度な技術を有する畑地かんがい技士を養成する。

1) 畑地かんがい技士養成講習会：令和2年10月12日～10月15日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEBにて開催し、10月19日（月）、全国3カ所（東京、熊本、沖縄）で技士登録資格認定試験を実施し、有資格者として23名を認定した（認定試験受験者数27名）。

2) 「令和2年度畑地かんがいに係る高収益化・省力化技術活用調査及び推進普及

業務」を農林水産省から請負、上記養成講習会にあわせて実施した。

注) 畑地かんがい技士補養成講習会は、平成 22 年度より募集を廃止した。ただし、既に取得済みの本資格は存続する。

## 2. 畑地かんがい技士、技士補の登録業務

1) 本年度の畑地かんがい技士及び畑地かんがい技士補の新規及び更新登録を実施した。

		令和 2 年 10 月 1 日 登録 (人)	令和 3 年 3 月 31 日 登録 (人)	合計 (人)
新規登録	技士	5	22	27
	技士補	—	—	—
更新登録	技士	51	200	251
	技士補	47	13	60
合計		103	235	338

令和 3 年 3 月 31 日現在の全体登録者総数 ( ) は前年度

技士: 1,506 名 (1,526)

技士補: 301 名 (327)

計 1,807 名 (1,853)

2) 畑地かんがい技士、技士補登録者名簿 (令和 2 年度版) を作成した。

### (4) 調査研究受託事業

#### 1. 受託調査研究事業

令和 2 年度に国等からの請負により実施した調査検討業務・事業は 11 件 (別途繰り越し案件 1 件あり) であり、内容に応じて現地調査等を実施し、成果を取りまとめて報告書をそれぞれに提出した。

#### 2. 受託機器性能検討事業

なし。

### (5) 図書出版事業

在庫既出版物、「HATASIN on demand BOOKs」の販売を行った。

## 2. 各種委員会の開催状況

1) 畑地かんがい技士登録資格認定委員会 令和 2 年 11 月 25 日

### 3. 会員の状況

	平成 31 年 4 月 1 日現在	令和 2 年 4 月 1 日現在	令和 3 年 4 月 1 日現在
会社会員	9	8	8
団体会員 (A)	3	3	3
団体会員 (B)	0	0	0
個人会員	3 5	3 5	3 5
計	4 7	4 6	4 6

令和 2 年度

入会

個人会員 3 名 土居 邦弘、中村 公人、徳田 博美

退会

個人会員 3 名 木村 伸男、中道 宏、矢野 均